

# 公共図書館の資料を使って読書の楽しさを広めたい

～目的に応じて図書館と書店を使い分け、豊かな読書生活を～

豊田市中央図書館(愛知県豊田市)

URL: <https://www.library.toyota.aichi.jp>

テーマ

図書館と書店等が連携して行う特色ある読書活動・行事

取組概要

- ・中央図書館の豊かな蔵書を活用した取組を書店で実施することで、読書の楽しさが感じられる場を増やす。
- ・書店のイベントに協力して人の流れを生み、町のにぎわいに貢献

取組詳細

令和5年度から、豊田市中央図書館では最寄りの書店「丸善雄松堂」の未来ラボステーションYYと協同した読書活動の推進を実施。公共図書館と書店が協力し合うよさを実感している。

## 中央図書館団体貸出を利用した書店での読み聞かせ活動

書店で週2回開催されているおはなし会(読み聞かせ)に中央図書館の本を利用。読み聞かせをする本の選択肢が広がり、子どもだけでなく親・祖父母世代からも好評。「もっと読んで」「懐かしい!」「何度見ても面白い」などの声が聞かれるようになった。書店にはない大型絵本や紙芝居も人気がある。売り物の本を読み聞かせすることが難しい書店の困り感を、中央図書館の豊富な蔵書を活用することで解消し、子ども読書活動の推進につなげた。



【中央図書館の絵本を使った書店の読み聞かせの様子】

## 書店主催の駅前活性化イベントに中央図書館もなぞときポイントとして協力

相互の来館・来客に繋がることを願って、令和5年11月に丸善雄松堂主催の「なぞときラリーinとよた2023」に中央図書館も協力。イベント中は、書店から駅前周辺施設や図書館に来館する流れができ、町のにぎわい創出に貢献。相互イベントのよさを実感。

## 書店内で中央図書館の資料を活用した生涯学習出前講座を豊田市教育委員会が実施

令和5年度8月に「どうぶつクイズに挑戦しよう～本からみつけよう～」を実施。ひらがなの読める4歳～小学校2年生までの10組21人の親子が参加して、図鑑



を使ってクイズを解きながら、目次・索引・見出しの使い方を学んだ。参加者からは大変好評で、「図鑑って楽しい」「図書館に行きたい」などの声があり、講座後書店で図鑑を購入した親子もいた。図書館の本をまず読んでみて「じっくり読みたい」「何度も読み返したい」本は購入するという、目的に応じた利用者の活用が見られた。

【書店イベントスペースで図書館資料を使った講座の様子】



【中央図書館に設置した書店のなぞとき】

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所  
愛知県豊田市西町1-200  
人口  
(図書館が所在する市町村)  
約42万人  
職員数(うち有資格者数)  
90人(63人)  
蔵書数  
約105万冊

取組の成果と今後

### 【成果】

未来ラボステーションYYの読み聞かせのための令和5年度団体貸出実績(2月まで)は、76冊。

図書館と書店が資料や人を交えて連携することで、それぞれの利用者が行き来する流れができた。

### 【課題】

図書館や書店を利用する人はもちろん、普段利用しない人にも、読書の楽しさや有用感を感じられる機会を提供するにはどうしたらよいか大きな課題。中央図書館の豊かな蔵書を多様な場所で活用しやすくしたり、他の書店との連携を検討したりするなど、多様な層に読書の楽しさを伝えられるサービスや企画を考えたい。